



白石死刑囚の執行の後で

死刑について考えてみませんか

東京拘置所のそばで死刑について考える会

東京都荒川区南千住一五九六二〇二

<https://sobanokai.hanamizake.com>

六月二十八日、二年一ヶ月ぶりに死刑が執行されました。殺されたのは二〇一七年神奈川県座間市で九人の男女を殺害した白石隆浩さんです。白石さんは遺族への謝罪や犯した罪の反省は全く見受けられず、死刑を望むような発言すらあったと報じられています。そんな殺人犯は人間じゃない、さつさと死刑にしろと声が上がります。「悪い人」なら死刑にしているのでしょうか？

遺族は救いようのない苦しみが続いているでしょう。しかし、私は死刑に反対と遺族を前にしては言えません。遺族の孤独は死ぬまで続く、それを私は経験しています。

それでも人の命を奪う権利を私達は誰も持っていないと思っています。

社会の歪みの中で作られてきた「犯罪」という罪を私達の社会は個人に負わせ、「悪人」としてたてあげ、国や社会への不満のはけ口にしています。個人の命は何より大切なものと言いますが、国は死刑と戦争という形で国民の生殺与奪を握っています。いざというときは国民の命を盾にしていたのです。戦前には天皇の赤子として兵隊に駆り立て、特攻として自ら命を捧げるよう仕向けてきました。そのうえでアジアを侵略し、たくさんの人を殺してきました。その歴史の責任の所在はうやむやのまま戦後の復興がなされ、今に至っています。今、私達は命を大切に作る社会に生きていると言えるでしょうか？

世界の中、死刑が残るのは、中国、北朝鮮、イラン、サウジアラビア、アメリカの一部の州、どちらかといえば民主主義国家とは言えないような国です。日本もその一つです。

死刑制度の情報公開を求めても、ほとんど黒塗りです。絞首刑という処刑の仕方でも残酷と世界から批判を受けていますが、それも秘密裏のうちに執行されています。日本の情報公開度是世界六六位、G7の国の中で最低です。

世界報道自由度ランキングにおける日本の順位（「年」抜粋）

年	順位	当時の首相
2002	26	小泉純一郎
2006	51	安倍晋三
2007	37	安倍晋三
2010	11	鳩山由紀夫
2012	22	野田佳彦
2016	72	安倍晋三
2021	67	菅義偉
2024	70	岸田文雄
2025	66	石破茂

最高ランキングは2010年の11位

アメリカでは死刑囚は誰と話しても自由が確保され、マスコミのインタビューにも応じることが出来ます。日本の死刑囚は面会も制限され独房に閉じ込められ、他の死刑囚ともつながりを絶たれたまま何年も過ごすのです。

死刑囚が自分の罪と向き合うにも、人とのつながりが必要ではないでしょうか？日本の死刑制度は命を奪うだけではなく、孤独に閉じ込め続けることで、人とのつながりを絶つという死刑以外の罰も強いいるのです。

もう一度、死刑制度を考え直してみませんか？